

「教職実践演習振り返りシート」記入要領

【目的】

この「教職実践演習振り返りシート」は、「教職実践演習」の授業の時点において、学生各自が自身の「大学での学び」を総合的に振り返り、相対化するための手がかりとするものである。

【記入の方法】

- 1) 本シートは全3頁で構成されている。1～2頁目については授業開始前までに作成しておき、3頁目（本授業での学びを踏まえて振り返る項目）については、授業中の指示に従って入力すること。
なお、各頁の入力に当たっては、印刷時にレイアウトが崩れないよう（各項目の入力枠を広げて次頁にまたがらないよう）注意すること。入力欄のフォントサイズは、レイアウトに影響が生じない範囲かつ明瞭に読める範囲であれば適宜変更して差し支えない。
また、授業開始後の修正については授業担当教員の指示に従うこと。
- 2) 過年度生（令和4年度までに入学）は「自律型カリキュラムデザイン」および関連科目である「教育創成科目」を学修していないため、これに関連する項目については、6) および8) の注意事項をよく確認のうえ、本シートを記入すること。
- 3) 氏名、フリガナ、学生番号、類・コース（プログラム）：各頁に記入する。
- 4) 取得免許種：いわゆる「主免」について、1頁に記入する。
※ 学校教育系学生は、取得要件となっている免許種一つ。
※ 教育支援系学生は、課程認定を得ている免許種のうち一つ。
- 5) 実習校：いわゆる「主免」の「教育実地研究Ⅱ」（4年次）について1頁に記入する。
なお、「教育実地研究Ⅱ」を履修しなかった学生は、「教育実地研究Ⅰ」（3年次）について記入すること。
※ 副免のための実習については「副免（選択実習含む） 自由選択等」欄（1頁表内）に記入。
- 6) 「授業での学び」（1頁）：各科目群における自身の学びを振り返り、「特に学修過程で良かったこと」および「今後、修得すべきこと」を、各欄にそれぞれ主な内容を箇条書きで数点程度記入する。
また、「修得した教職基礎力」については、毎年記入している「教職基礎力自己診断の記録」を参照しながら、どの能力の成長につながったかについて、◎または○を記入する（◎は特に成長を実感したものに記入すること）。
※ 過年度生（令和4年度までに入学）においては、「教育創成科目」の入力は不要とする。
- 7) 「授業外での学び」（2頁）：大学の授業以外に、大学で学んでいる時期に体験したことの中で、自分の今の成長に有益であったと思われること、あるいはその逆を記入する。
なお、「自己創造のための教育体験活動」における学びについても、本項目に記入すること。

（次頁に続く）

8) 「自律型カリキュラムデザインによる自身の4年間の学びを振り返って」(2～3頁)：個別の学修内容ではなく、学び全体を総合して考察すること。「最終試験」のための課題整理の機会とする。

なお、「目標とする人材像」については、本学が設定する5つの資質能力(スタディガイド「教育創成科目」の項目参照)の中から、どの力を伸ばすことを意識したかについて、その高低の程度を5段階評価(5項目の順位付けではなく自身の考える絶対評価。同じ数字が複数あっても差し支えない。)で入力すること。

※ 過年度生(令和4年度までに入学)は「自律型カリキュラムデザイン」を学修していないが、挙げられている5つの資質能力の視点から自身の学びを振り返って記入すること。

9) 「大学での学び全体を振り返って」(2～3頁)：8)と同様に、個別の学修内容ではなく、学び全体を総合して考察すること。「最終試験」のための課題整理の機会とする。

10) 本シートは第1回授業から利用するため、印刷のうえ持参すること。

なお、本シートは授業の前半と後半でそれぞれ提出物の対象となる。提出に当たっては、必ずコピーを取り、教職実践ポートフォリオに綴じ込んでおくこと。

11) 本要領に関わらず、授業担当教員から別途指示があった場合は、その指示に従うこと。

以上

教職実践演習振り返りシート(3頁以内にまとめる)

フリガナ	ガクゲイ マルマル	類・コース(プログラム)	○類○○○○コース	取得免許種(主免)	小学校一種
氏 名	学芸 ○○	学 生 番 号	○23-○○○○	実 習 校 (主 免)	小金井市立○○小学校

科目群		特に学修過程で良かったこと	修得した教職基礎力 (◎または○で複数選択可)					今後、修得すべきこと
			教職観	教科基礎力	学習指導力	子ども理解力	生活指導力	
授業での学び〔簡条書きで数項目程度記入する〕	教養科目	・未修外国語として中国語を選択、中検2級取得。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○		○	○		○	・自然科学系の科目を全く履修していないので、得意教科に関わらせて、専門を勉強したい。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○
	教職科目	・「教職入門」以外、全ての教職科目が「A」評価で自信となった。 ・実習前に社会科の指導案づくりに懸命に取り組み、実習校でもほめられた。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○	◎		○		◎	・「教職入門」の学校参観の時に、身だしなみについて注意を受けた。 ・初等家庭科教育法の単位を落とし、再履修となったが、がんばりたい。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○
	教育創成科目	・授業・・・を学ぶことで、授業外での子どもの探究力を伸ばす視点を育むことができた。 ・授業・・・を通じて、自身のこれまでの経験では思いもよらなかったICTを活用した授業手法に触れることができた。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○	○		○	○	○	・社会との連携という視点をあまり持っていなかったが、授業○○を通じて、自身の磨きたい力である、子供の置かれている環境への対応とも切り離せない側面に気付いた。個別の学修を実践で結びつけられるよう視野を広げたい。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○
	専門科目	・選択科目部分で「体育」を選んだことが自分の経験からとても良かった。 ・カリキュラム論、情報、等々、意欲的に取り組めたと思う。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○		◎				・ピアノの実技が不十分だと感じているので時間を取り力をつけたい。 ・得意教科との関連性が薄かったので、その点を卒研と関わらせて強化したい。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○
	教育実習 (教育実地研究Ⅰ・Ⅱ)	・教育実地研究Ⅰでは、附属の社会科の先生方の指導を受けて、社会科の研究授業を行った。 ・教育実地研究Ⅱは、近くの公立校だったが、社会科を中心として実習を行い自信となった。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○	◎	○	◎	◎	◎	・教育実地研究Ⅰと教育実地研究Ⅱの区分が今ひとつ不明確(社会科焦点化していた)だったので、少し視野を広くすることを考えたい。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○
	卒業研究	・小学生の社会認識形成について、実習校の児童たちにアンケート調査を行って分析を行い、実態を具体的につかめた。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		◎	○			・採用試験後に本格的に取り組かなかったため、データの採り方や分析があまりできていない。方法の基本を身につけたい。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○
	副免 (選択実習含む) 自由選択等	・副免として中一種(社会)高一種(公民)を取得予定である。 ・選択(中高免)の実習は附属○○○学校で行ったが、・・・	◎	◎	◎			・履修単位が増えすぎて、集中できない部分がかった。 ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○

